

大腸がんは進行するまで自覚症状がない病気

年に1回の検査で大腸がんを予防しよう

日本人の2人に1人が、がんになり、3人に1人が、がんで亡くなっています。食生活の欧米化により日本でも大腸がんにかかる人が大幅に増加。大腸がんは、40歳代から増加し始め、女性のがん死亡原因の第1位、男性の第3位となっています。

大腸がんは進行するまで自覚症状がほとんどありません。症状が出たときには、すでにがんが進行していることもあり。大腸がんは、早期発見・早期治療すれば95%以上が治療可能。しかも体への負担が少ない治療を受けることができます。大腸がんの予防には、年に1回の検診を受けることが大切です。

プなどの大腸疾患があると、大腸内で出血することがあるため、便の中に含まれる微量の血液を調べます。

対象
年度内に40歳以上になる人で、勤務先などで大腸がん検診の機会がない人。ただし大腸に関する疾患で、経過観察中・治療中の人は受診できません。

※大腸がん検診は、集団検診と医療機関での個別検診を実施しています。（内容は同じ）

集団検診
必ず市健康づくり課健康係に事前申し込みをしてください。定員になり次第締め切りますので、早めに予約をお願いします。

実施日
●まほろばやまと11月9日（日）（無料託児あり）、10月13日（土）

▼藤吉コミュニティセンター11月9日（火）

▼サンブリッジ11月7日（日）（無料託児あり）

▼水の郷11月15日（月）

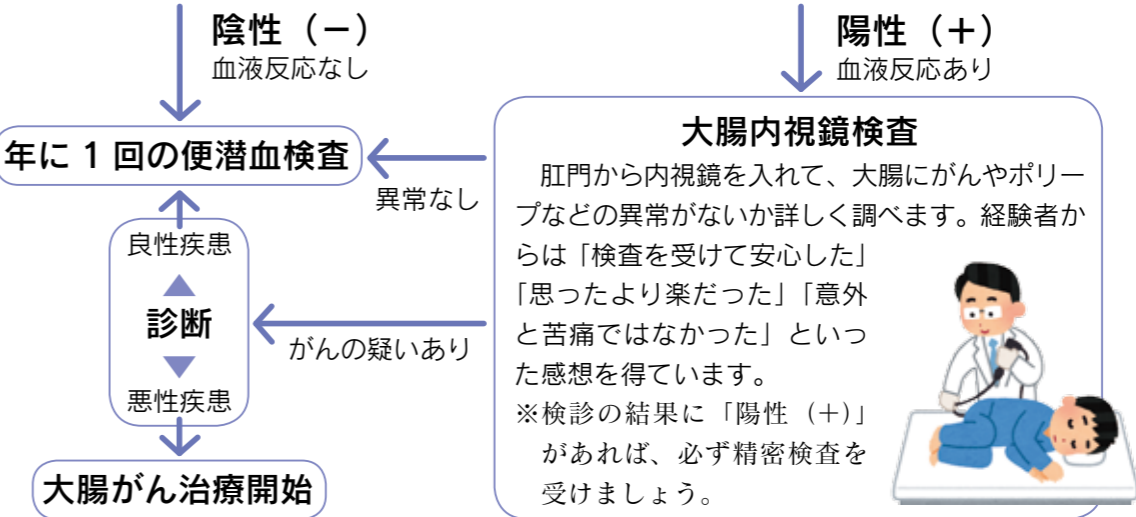
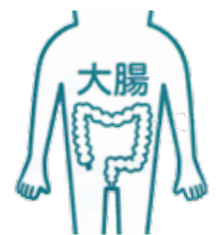
※検診日に検査容器を渡します。後日集団検診実施日に提出してください。

医療機関での個別検診
9月30日まで実施しています。直接医療機関から検査容器を受け取り、後日提出してください。実施医療機関は、6月に配布した「平成30年度がん検診・特定健診のご案内」のパンフレットか市公式サイトを確認してください。

問い合わせは、市健康づくり課健康係（☎77・8536）まで。

大腸がん検診の流れ

大腸がん検診の流れは「検診の申し込みをする→検査キットを受け取る→2日分の便をとる→検査キットを提出する→検査の結果を確認する」となります。大腸にがんやポリープがあると、便にわずかな血液が含まれることがあります。その血液反応を調べることで、大腸内の出血の有無を確認します。また、毎年検診を受けることで死亡リスクが、60%～80%減少します。



認知症になっても住み慣れた地域で暮らす

柳川市認知症初期集中支援チームを配置

市は、三橋庁舎内にある地域包括支援センターに認知症の早期診断・早期対応に取り組む、医療と介護の専門職による認知症初期集中支援チームを配置しています。

早期に相談や対応を行うことで、認知症の原因に合わせた治療を早くから始めることができ、症状を軽くしたり、進行を遅らせたりすることが期待できます。また、記憶や意思が明確なうちに病気を知ること、本人自身の考えを周囲に伝えておくことができ、適切な治療や環境によって、良い状態が維持できれば、家族も落ち着いた生活を送ることができます。

◇柳川市認知症初期集中支援チームとは

本人や家族、民生委員、ケアマネジャーなどからの相談を受け、家庭を訪問し、相談に応じ、在宅生活の支援や介護者の負担軽減への助言や支援を行います。また、専門医の助言を受けながら、適切な医療・介護サービスの提供などを行います。

◇主な支援内容

▶アセスメント（評価）

情報を収集・分析し、認知症かどうか、家族の介護状況や生活状況なども確認します。

▶専門医療機関の紹介

認知症の疑いがある場合は、最適な医療機関を紹介します。

▶介護サービスについての説明や利用支援

情報収集した内容を吟味し、必要な医療や介護サービスにつながるよう支援します。

▶生活する上でのケアやアドバイス・介護者への支援

本人だけでなく家族に対しても、認知症に対する正しい知識や生活する上でのアドバイス、支援を行います。

◇対象

40歳以上で自宅で生活している認知症の人（認知症の疑いがある人も対象）で、次のいずれかに該当する人

▶医療サービス、介護サービスを受けていない、または中断している

▶医療サービス、介護サービスを受けているが、認知症の行動や心理症状により対応に困っている

◇費用
相談費用は無料。ただし支援の中で発生する医療サービスや介護サービスに係る費用は本人負担となります。

◇費用

相談費用は無料。ただし支援の中で発生する医療サービスや介護サービスに係る費用は本人負担となります。

認知症カフェ運営者募集

市は、ボランティア団体などによる「認知症カフェ」の開設や運営時にかかる事業費の一部を補助します。

●募集地域 東宮永小・昭代第一小以外の小学校区

●募集数 6か所（各校区1か所ずつ）

●募集期限 9月10日（月）

●助成の内容 事業に要した交付対象経費の合計額から収入金額を控除した額（助成額は1か所につき年間12万円以内）と、開設費用3万円以内（初年度のみ）

●助成対象団体の決定 申請後、認知症カフェ審査委員会にて審査を行い、助成対象団体を決定。助成の要件などについては、市公式サイトを確認してください。

問い合わせは、市福祉課高齢者福祉係（☎77・8516）まで。

小学校へ入学する幼児の健康診断

対象者には2週間前までに通知を送付

学校	実施日	会場
藤吉小	9月12日（水）	藤吉小体育館
東宮永小、矢留小	9月14日（金）	市民体育館
六合小、大和小、豊原小	10月2日（火）	大和B&G海洋センター体育館
柳河小、城内小	10月5日（金）	市民体育館
昭代第一小、矢ヶ部小	10月22日（月）	市民体育館
両開小、昭代第二小	10月23日（火）	市民体育館
血垣小、有明小、中島小	10月24日（水）	大和B&G海洋センター体育館
二ツ河小、垂見小、中山小	10月25日（木）	三橋体育センター
蒲池小	11月12日（月）	蒲池小体育館

市教育委員会は、来年4月に小学校へ入学予定の幼児の健康診断を実施します。対象者には通知をしますが、2週間前までに通知がない場合は、市学校教育課に連絡してください。また入学予定校の実施日で都合が悪い場合も、事前日に同課へ連絡してください。

●受け付け 午後0時40分～午後1時10分

問い合わせも、同課（☎77・8893）まで。